

成果の刊行に関する一覧表【平成19～21年度】

発表者氏名	論文タイトル名	発表誌名	巻号	ページ	出版年
稲野利美	静岡県立静岡がんセンターにおける取り組み 自己管理力向上をめざして： 栄養士の立場から	医学のあゆみ	231	1203-1209	2009
山口建	家庭医によるがん対策 -疾病管理と社会学の立場から-	治療	90	6-13	2008
山口建	がん診療連携拠点病院とは？	治療	90	123-130	2008
影山武司、 山口建、他	地域におけるがん検診の 実態調査	治療	90	75-79	2008
山崎むつみ、 山口建、 石川睦弓、他	家庭医のためのがん情報収集法 -インターネットを中心に-	治療	90	137-143	2008
石川睦弓、 山口建、他	患者・家族のためのがん情報 収集法	治療	90	145-150	2008
堀内智子、 山口建、他、	暮らしのための医療福祉 サービス	治療	90	151-156	2008
山口建、 堀内智子	がん診療連携拠点病院の 現状と課題	保健医療科学	57	318-326	2008
福地智巴、 山口建、他、	医師と患者・家族のコミュニ ケーション術	治療	90	157-162	2008
山口直人	がん検診の医療経済学	治療	90	169-173	2008
望月泉	がん早期発見術 大腸（結腸・直腸）のがん	治療	90	25-30	2008
佐々木常雄	がん患者のターミナル あなたに伝えたいエピソード 第9回 患者はどのように最期を 過ごしたいのか ～がん終末期医療のあり方を 考える～	エキスパートナーズ	24	174-175	2008
佐々木常雄	がん患者のターミナル あなたに伝えたいエピソード 第10回 マニュアル時代の「型どおりの死」	エキスパートナーズ	24	182-183	2008
佐々木常雄	がん患者のターミナル あなたに伝えたいエピソード 第11回 死の恐怖を乗り越える術	エキスパートナーズ	24	166-167	2008

成果の刊行に関する一覧表【平成19～21年度】

発表者氏名	論文タイトル名	発表誌名	巻号	ページ	出版年
佐々木常雄	がん患者のターミナル あなたに伝えたいエピソード 第12回 死とは-魂は残る-	エキスパートナース	24	160-161	2008
佐々木常雄	がん化学療法のあり方 腫瘍内科医の立場から	癌の臨床	54	247-252	2008
永井宏和	低悪性度B細胞性リンパ腫に 対する標準的治療戦略	血液・腫瘍科	56	1-6	2008
永井宏和	再発または難治性多発性 骨髄腫におけるレナリド マイドの役割	医薬ジャーナル	44	113-118	2008
永井宏和	濾胞性リンパ腫 -悪性リンパ腫 update in 2008	内科	102	293-299	2008
岡田誠治、 永井宏和、他	エイズ関連リンパ腫の現状と 治療戦略	臨床血液	49	206-214	2008
大野真司、他	がん診療にかかわる適切な 情報取得とコミュニケーション	medicina	45	1390-1392	2008
大野真司、 大島彰	サージカルオンコロジストの ためのサイコオンコロジー	Pharma Medica	26	117-123	2008
大野真司、他	多職種から多施設へと広がる 乳癌チーム医療	CANCER BOARD 乳癌	1	51-54	2008
長井吉清、他	胃癌患者に対する病名告知の あり方について -QOLからみた「仄めかし」と 「病名のみ」の違いについて-	日本癌治療学会誌	43	466	2008
坂本茂	肝細胞癌 膵癌 胆嚢癌 高リスク患者の拾い上げと 早期診断	治療	90	18-24	2008
山下浩介	がん患者の在宅医療の現状と 課題	治療	90	163-168	2008
柏木雄次郎、他	がん患者の心身苦痛と 緩和ケアへの理解・需要 ～患者アンケートから～	心療内科	12	73-79	2008
金岡俊雄	泌尿器癌 (膀胱癌、前立腺癌、腎臓癌) -血尿といわれたら-	治療	90	45-49	2008
安達勇	がん化学療法における 緩和医療科医師の役割	ナーシング・ トゥデイ	23	58-62	2008
吉川栄省、 安達勇	終末期鎮静に関する倫理と 精神科医の役割について	総合病院 精神医学	20	272-278	2008

成果の刊行に関する一覧表【平成19～21年度】

発表者氏名	論文タイトル名	発表誌名	巻 号	ページ	出版年
上野尚雄、 大田洋二郎	口臭のメカニズムと ケアの選択	がん患者と対症療法	19	34-39	2008
大田洋二郎	終末期に直面する口腔症状に 対するケア	訪問看護と介護	3	892-896	2008
大田洋二郎	がん治療と口腔ケア がん治療における口腔ケアの 意義と歯科の役割	歯科臨床研究	5	109-111	2008
増野浩二郎、 田代英哉、他	乳癌術後補助療法としての TC療法の認容生の検討	日本臨床外科学会誌	69	5	2008
青木(大曲)睦恵	こどものこころに寄り添うこと	緩和ケア	18	28-32	2008
山口建	振り返らずに一步ずつ -がんの社会学を实践して	日本医事新報	4336	1	2007
濃沼信夫	がん医療のコスト・ パフォーマンス	月刊基金	48	3-5	2007
濃沼信夫	がん医療にみる健康と経済	Geriat. Med	45	577-581	2007
石田裕二	『family-centered-careを 目指してのチーム医療： チャイルド・ライフ・スペシ ャリストと小児科医の 連携』： 静岡がんセンター小児科	日本小児科学会誌	110	134	2007
佐々木常雄	がん患者のターミナル あなたに伝えたいエピソード 第1回 桜の木の下で	エキスパートナース	23-5	116-117	2007
佐々木常雄	がん患者のターミナル あなたに伝えたいエピソード 第2回 若いがん患者の死に「受容」 はありえない	エキスパートナース	23-7	190-191	2007
佐々木常雄	がん患者のターミナル あなたに伝えたいエピソード 第3回 「あと一週間の命です」	エキスパートナース	23-9	190-191	2007
佐々木常雄	がん患者のターミナル あなたに伝えたいエピソード 第4回 「緩和に徹する」ということ	エキスパートナース	23-10	128-129	2007

成果の刊行に関する一覧表【平成19～21年度】

発表者氏名	論文タイトル名	発表誌名	巻号	ページ	出版年
佐々木常雄	がん患者のターミナル あなたに伝えたいエピソード 第5回 病名を知らずにふたりは・・・	エキスパートナース	23-11	106-107	2007
佐々木常雄	がん患者のターミナル あなたに伝えたいエピソード 第6回 「一緒にがんばってみましょう」	エキスパートナース	23-12	174-175	2007
佐々木常雄	がん患者のターミナル あなたに伝えたいエピソード 第7回 「花おりおり」の記事	エキスパートナース	23-13	182-183	2007
佐々木常雄	がん患者のターミナル あなたに伝えたいエピソード 第8回 死へ向かう「1つひとつのけじめ」 ～自宅で臨終 簡素なお別れ 海へ散骨～	エキスパートナース	23-15	182-183	2007
永井宏和	濾胞性リンパ腫に対する リツキシマブの維持療法	血液・腫瘍科	54	732-736	2007
永井宏和	がん診療の最前線 -ホジキンリンパ腫-	最新医学	67	1329-1340	2007
大野真司、他	外来化学療法における チーム医療	臨床外科	62	619-625	2007
片岡明美 大野真司、他	乳癌患者の全人的医療の実践	日本臨床	65	617-621	2007
増田慎三、 大野真司、他	乳癌周術期化学療法の現状 および Supportive Care の 工夫	癌と化学療法	34	1609-1615	2007
長井吉清、他	病名告知の QOL への影響	日本癌治療学会誌	42	416-416	2007
林裕之、 細川治、他	術後膵液瘻に対するステント 留置 -膵体尾部切除後の術後膵液 瘻に対する内視鏡的内瘻術の 経験-	消化器内視鏡	19	1731-1735	2007
須賀昭彦	看取りの症状緩和パス：疼痛	緩和医療学	9	23-28	2007
龍沢泰彦	当院緩和ケア病棟の現状と 課題	癌の臨床	53	161-165	2007

成果の刊行に関する一覧表【平成19～21年度】

発表者氏名	論文タイトル名	発表誌名	巻 号	ページ	出版年
井上賢一	進行・再発乳がんの薬物療法	看護技術	53	25-27	2007
井上賢一	乳癌	薬局	58	1773-1789	2007
小坂美智代、 奥原秀盛、他	緩和ケア病棟における家族を 対象としたサポートグループ での語りの様相	がん看護学会誌	21	14-30	2007
奥原秀盛	死の受容過程理論	ナーシング	27	166-172	2007
奥原秀盛	海外がん看護事情 -アイルランド・英国のがん 患者サポート事情-	がん看護	12	454-456	2007
安達勇、 森田達也	終末期がん患者に対する 輸液ガイドライン:概念的枠組み	緩和ケア	17	186-188	2007
安達勇	緩和医療と補中益気湯などの 漢方医療	漢方医学	31	13-15	2007
石本寛人、 安達勇	疼痛対策	がん看護	12	611-614	2007
安達勇	モルヒネに誘発される せん妄対策	日本医事新報	4364	95-96	2007
大庭章、 吉川栄省	がん患者との基本的な コミュニケーション	腫瘍内科	1	317-321	2007
大庭章、 吉川栄省	がん患者への精神療法の実践	日本臨床	65	123-127	2007
吉川栄省、 大庭章	精神症状に対する緩和ケア	外科治療、	96	942-947	2007
大田洋二郎、 内藤克美、 望月亮	病院連携の実例 急性期治療後のメンテナンス と医療連携	歯界展望	884	178-185	2007
田村恵美子、 柿川房子	乳がん治療における生活障害 を持つ患者に対する 支援モデル開発に関する研究	日本医療 マネジメント 学会雑誌	8	164	2007
石川睦弓、 北村有子、他	インターネットによる 情報提供・情報発信ツール 「Web版がんよろず相談 Q&A」 の試み (第1報) -日本語自由文あいまい語 検索システムの開発-	医療情報学	27	1201-1202	2007

成果の刊行に関する一覧表【平成19～21年度】

発表者氏名	論文タイトル名	発表誌名	巻号	ページ	出版年
北村有子、 石川睦弓、他	インターネットによる 情報提供・情報発信ツール 「Web版がんよろず相談Q&A」 の試み（第2報） -相談内容の分析-	医療情報学	27	1203-1204	2007
大曲睦恵	日本におけるチャイルド・ ライフ・スペシャリストの 展望	JAHMC	12	28-31	2007

書籍：日本語

著者氏名	論文タイトル名	書籍全体の 編集者名	書籍名	出版社名	出版地	出版年	ページ
山口建、他 （「がんの社会学」に関する 合同研究班）			がんよろず 相談Q&A 第6集 乳がん編③		静岡県	2010	
山口建	がんの社会学と 患者支援	静岡がん センター	がん看護 BOOKS がん看護研修 マニュアル	南江堂	東京都	2010	12-18
山口建	がん対策の総合 的戦略 -予防・検診・ 受診・情報-	静岡がん センター	がん看護 BOOKS がん看護研修 マニュアル	南江堂	東京都	2010	41-48
石川睦弓、 北村有子	患者・家族支援	静岡がん センター	がん看護 BOOKS がん看護研修 マニュアル	南江堂	東京都	2010	19-22
高田由香	セカンド オピニオン	静岡がん センター	がん看護 BOOKS がん看護研修 マニュアル	南江堂	東京都	2010	29-30
青木和恵	褥瘡ケア	静岡がん センター	がん看護 BOOKS がん看護研修 マニュアル	南江堂	東京都	2010	255-259
稲野利美	栄養管理	静岡がん センター	がん看護 BOOKS がん看護研修 マニュアル	南江堂	東京都	2010	204-213
山口建	急増する患者。 がんの2015年 問題にどう 立ち向かうか		がんを生き 抜くための 指南書		東京都	2010	73-86

成果の刊行に関する一覧表【平成19～21年度】

著者氏名	論文タイトル名	書籍全体の編集者名	書籍名	出版社名	出版地	出版年	ページ
濃沼信夫	大腸癌治療の費用効果	武藤徹一郎(監)	大腸癌診療で知っておきたい医療経済大腸疾患NOW2010	日本メディカルセンター	東京都	2010	81-87
濃沼信夫	がんの医療経済		新しい診断と治療のABC「胃癌」	最新医学社	大阪府	2010	236-244
永井宏和	骨髄腫 annual report 2009	日本骨髄腫研究会	日本人再発難治多発性骨髄腫におけるレナリミド国内臨床試験について	日本骨髄腫研究会	愛知県	2010	14-19
坂下義彦、 渡辺敏	がん診療連携拠点病院としての活動 緩和医療センター	木村秀樹	がん診療ハンドブック	永井書店	大阪府	2010	
小池眞規子	人生半ばで大病に罹ること	岡本祐子	成人発達臨床心理学	ナカニシヤ出版	京都府	2010	298-305
山口建	がんよろず相談(相談支援センター)の取り組みと役割	樋野興夫、 木南英紀	がん医療入門	朝倉書店	東京都	2009	218-225
山口建	「がんの社会学」を目指して		医の倫理・シリーズ講演会 よい医師になる	日本医学出版	東京都	2009	93-111
佐々木常雄			がんを生きる主治医から余命を告げられたらどうすればいいか	講談社	東京都	2009	
永井宏和	低悪性度非ホジキンリンパ腫	直江知樹	現場で役立つ血液腫瘍治療プロトコール集	医薬ジャーナル社	大阪府	2009	98-113
永井宏和	びまん性大細胞型B細胞リンパ腫は、胚中心B細胞(GCB)と活性型B細胞(ABC)型で治療方針をかえるべきか?	金倉譲、 木崎昌弘、 他	2010-2011 EBM血液疾患の治療	中外医学社	東京都	2009	301-306

成果の刊行に関する一覧表【平成19～21年度】

著者氏名	論文タイトル名	書籍全体の 編集者名	書 籍 名	出版社名	出版地	出版年	ページ
永井宏和	ホジキンリンパ腫 -限局期ホジキン リンパ腫	飛内賢正、 堀田知光、 木下朝博	悪性リンパ腫 治療マニュアル	南江堂	東京都	2009	177-181
永井宏和	病気のひろがり (臨床病期)	堀田知光	インフォームド コンセントの ための図説 シリーズ 「悪性リンパ腫」	医薬ジャー ナル社	大阪府	2009	20-23
重松英朗、 中村吉昭、 大野真司	ホルモン感受性 乳癌に対する 治療	稲治英生	乳癌テーラー メイド治療の 理論と実践	金原出版	東京都	2009	
森恵美子、 重松英朗、 大野真司	術前後化学療法 の考え方	戸井雅和	みんなに役立つ 乳癌の基礎 と臨床	医薬ジャー ナル	大阪府	2009	
山下浩介			がん患者・家族 のサポート		北海道	2009	
須賀昭彦	厄介な痛み (その1) 神経障害性疼痛	平原佐斗司、 茅根義和	チャレンジ！ 在宅がん緩和 ケア	南山堂	東京都	2009	
柏木雄次郎	がんの痛みを和 らげる (疼痛緩和)	大阪府立 成人病 センター	がんを治す チカラ	毎日新聞	東京都	2009	176-177
柏木雄次郎	がんの初期から 始まる緩和ケア	大阪府立 成人病 センター	がんを治す チカラ	毎日新聞	東京都	2009	180-181
柏木雄次郎	がん患者さんの メンタルケア	大阪府立 成人病 センター	がんを治す チカラ	毎日新聞	東京都	2009	182-183
柏木雄次郎	緩和・精神ケアと がん看護	大阪府立 成人病 センター	ここが知りたい -がん診療 Q&A	永井書店	大阪府	2009	152-158
井上賢一	非浸潤性乳癌に 対する薬物療法	戸井雅和	乳癌の基礎と 臨床	医薬ジャー ナル	大阪府	2009	490-496
井上賢一	タキサンとの役割	佐伯俊昭	乳がんの標準 化学療法の実	金原出版	東京都	2009	11-14
奥原秀盛	死の受容過程 理論	黒田裕子	看護診断の ためのよく わかる中範囲 理論	学習研究	東京都	2009	205-212

成果の刊行に関する一覧表【平成19～21年度】

著者氏名	論文タイトル名	書籍全体の 編集者名	書 籍 名	出版社名	出版地	出版年	ページ
吉田隆子	子どもたちに生きる力を -食育からのイン プリンティティ ングが健康への 投資-	日本生理 人類学会	カラダの 百科事典	丸善	東京都	2009	116-120
吉田隆子、 せべまさゆき (絵)	「やさいだいすき ひみつのごはん」		はじめての 食育クッキング えほん	金の星社	東京都	2009	
吉田隆子、 せべまさゆき (絵)	「うどんはどこか らきたの」		はじめての 食育クッキング えほん	金の星社	東京都	2009	
吉田隆子、 せべまさゆき (絵)	「4つのおさらで げんきになあれ」		はじめての 食育クッキング えほん	金の星社	東京都	2009	
青木和恵	全身状態と褥瘡 がん終末期	真田弘美、 須釜淳子	実践に基づく 最新褥瘡看護 技術	照林社	東京都	2009	
稲野利美			症状で選ぶ！ がん患者さん と家族のため の抗がん剤・放 射線治療と食 事のくふう	女子栄養 大出版部	東京都	2009	
山口建、他 (「がんの社会学」 に関する合同 研究班)			がんよろず 相談Q&A 第5集 乳がん編②		静岡県	2009	
山口建、他 (「がんの社会学」 に関する合同 研究班)			学びの広場シリーズ⑥ 緩和ケアとは？ (小冊子)		静岡県	2008	
山口建、他 (「がんの社会学」 に関する合同 研究班)			学びの広場シリーズ⑦ がんと上手に つきあう方法 (小冊子)		静岡県	2008	
山口建、他 (「がんの社会学」 に関する合同 研究班)			学びの広場シリーズ⑧ 患者・家族の コミュニ ケーション (小冊子)		静岡県	2008	

成果の刊行に関する一覧表【平成19～21年度】

著者氏名	論文タイトル名	書籍全体の 編集者名	書 籍 名	出版社名	出版地	出版年	ページ
山口建、他 （「がんの社会学」 に関する合同 研究班）			学びの広場⑨ 痛みをやわら げる方法 （小冊子）		静岡県	2008	
山口建、他	がんの社会学－ DPC時代の次に 何がくるのか？	グ ロー バ ルヘルス 研究所	がん医療の質 に挑む DPC時代の チャレンジ	日本医学 出版	東京都	2008	57-72
山口建、他	“がんの時代”に おける家庭医の 役割	片山壽	地域で支える 患者本位の 在宅緩和ケア	篠原出版 新社	東京都	2008	40-54
永井宏和	ホジキン リンパ腫	中川和彦	Cancer Treatment Navigator	メディカ ルビュー 社	東京都	2008	206-207
山下浩介			がんに負けない！ （小冊子）		北海道	2008	
安達勇、 吉川栄省、 他	緩和ケアチーム の経緯と活動 静岡県立静岡が んセンター	森田達也 木澤義之 戸谷美紀	緩和ケアチームの 立ち上げ方・進め 方	青海社	東京都	2008	14-16
小池眞規子	子どもは自分の 死をどう見つけ るか -死に直面した子 どもたち	中根晃、 牛島定信、 村瀬嘉代子	子どもと 思春期の精神 医学	金剛出版	東京都	2008	105-110
山口建、他 （「がんの社会学」 に関する合同 研究班）			がんよろず 相談Q&A 第4集 乳がん編①		静岡県	2008	
安達勇、他	緩和ケアチーム の経緯と活動 静岡県立静岡が んセンター	森田達也、 木澤義之、 戸谷美紀	緩和ケアチームの 立ち上げ方・ 進め方	株式会社 青海社	東京都	2008	14-16
吉田隆子	「食育の大研究」		「食育」の大研究 -からだにいい！ おいしい！ 楽しい！ 栄養 バランスから 料理まで	PHP		2008	79

成果の刊行に関する一覧表【平成19～21年度】

著者氏名	論文タイトル名	書籍全体の編集者名	書籍名	出版社名	出版地	出版年	ページ
山下浩介			がん患者・家族のケア	(財)日本対がん協会研究成果等普及啓発事業研究成果発表会	北海道	2008	
山口建、 吉田隆子、 石川睦弓、 稲野利美、他			がん患者さんと家族のための抗がん剤・放射線治療と食事のくふう	女子栄養大学出版部	東京都	2007	
佐々木常雄、 他		佐々木常雄	抗がん剤の作用・副作用がよくわかる本	主婦と生活社	東京都	2007	
佐々木常雄	「もう治療法はありません、三ヶ月命と頑張って下さい」と医師から言われた		ベッドサイドでの一言	日本医事新報社	東京都	2007	180-181
大野真司、他	乳がん患者のこころと身体を支えるチーム医療	大野真司、 笠原善郎	明日から役立つ乳がんチーム医療	金原出版	東京都	2007	1-14
井上賢一、他 (診療ガイドライン薬物療法小委員会)		日本乳癌学会	科学的根拠に基づく乳癌診療ガイドライン1 薬物療法 2007年版	金原出版株式会社	東京都	2007	1-160
安達勇、他	本邦での緩和ケアチーム活動の実際 (2) 静岡県立静岡がんセンター	並木昭義、 川股知之	すぐに役立つ緩和ケアチームの立ち上げと取り組みの実際	真興交易医書出版部	東京都	2007	45-55

成果の刊行に関する一覧表【平成19～21年度】

著者氏名	論文タイトル名	書籍全体の 編集者名	書 籍 名	出版社名	出版地	出版年	ページ
大庭章、 吉川栄省	怒りへの対応	内富庸介、 藤森麻衣子	がん医療に おけるコミュニ ケーション・ スキル	医学書院	東京都	2007	
大庭章、 吉川栄省	不安への対応	内富庸介、 藤森麻衣子	がん医療に おけるコミュニ ケーション・ スキル	医学書院	東京都	2007	
青木和恵	緩和ケアとして の褥瘡ケア	辻哲也	がんのリハビ リテーション	メジカル フレンド 社	東京都	2007	
青木和恵	全身状態と褥瘡 がん終末期	真田弘美、 須釜淳子	最新褥瘡看護 技術	照林社	東京都	2007	

